

令和3年度第1回網走市総合教育会議議事録

1. 開催日時 令和4年3月28日(月)
開会 15時30分
閉会 16時15分
2. 開催場所 市議会委員会室
3. 協議事項
 - (1) GIGAスクール構想の推進について
 - (2) 学校における新型コロナウイルス感染症対応について
 - (3) 公共施設予約システムの導入について
 - (4) 美術館開館50周年記念展について
 - (5) スポーツ合宿及び令和5年度全国高校総体ボート競技の開催について
4. 出席委員
網走市長 水谷 洋 一
網走市教育委員会
教育長 岩永 雅 浩
委員 富永 雄 一 (教育長職務代理者)
委員 中山 真 弓
委員 伊藤 亮 人
委員 佐々木 砂 宗
5. 会議に出席した事務局職員
学校教育部長 田 口 徹
社会教育部長 吉 村 学
学校教育部次長 小路谷 勝 巳
社会教育部次長 岩 本 博 隆
学校教育課長 小 松 広 典
学校教育部参事 高 橋 善 彦
社会教育課長 岩 尾 弘 敏
スポーツ課長 大 西 広 幸
美術館長 古道谷 朝 生
博物館長 米 村 衛
学校教育課庶務係 杉 山 絢 星
6. 傍聴者 なし
報道機関 なし
7. 議事の経過 別紙のとおり

田口学校教育部長

定刻になりましたので、ただ今から令和3年度第1回網走市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして、網走市長水谷洋一よりご挨拶申し上げます。

水谷市長

令和3年度第1回総合教育会議の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

富永職務代理者をはじめ、各教育委員の皆様には、日頃から子どもたちの教育の充実や社会教育の推進のために、ご尽力をいただいておりますことに、改めて心から感謝を申し上げます。

さて、一昨年来、学校や社会教育の現場では、新型コロナウイルスの感染症対策により、様々な行事や活動における制限や開催延期、中止といった影響を受けてきたところであります。

そういった中でも、関係される皆様のご理解とご努力により、感染症対策を施しながら、子どもたちの学び機会の保障と生涯学習の継続に努めてまいりました。

新型コロナウイルスは、いまだ収束が見込めない状況ではありますが、市では現在、3回目のワクチン追加接種を進めているところであり、今月の17日からは、5歳から11歳を対象とする小児用ワクチンの接種を開始したところでございます。

引き続き、学校や社会教育の現場における感染症対策に取り組んでまいります。

本日は、「GIGAスクール構想の推進について」など、5点につきまして、ご協議いただく会議となっております。

教育委員の皆様からは、忌憚のないご意見を伺いながら、取り進めてまいりたいと考えておりますので、本日は、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、協議事項1「GIGAスクール構想の推進について」を事務局から説明願います。

小松学校教育課長

協議事項1「GIGAスクール構想の推進について」ご説明申し上げます。

GIGAスクール構想の実現に向けては、校内高速大容量ネットワークと一人一台端末の、非常時貸出用モバイルルーター、セキュリティフィルタリング、授業支援ツールを整備してまいりました。

令和4年度のGIGAスクール関連の予算では、授業用のデジタル機器として、児童生徒の目を見て授業ができるよう、全学級に電子黒板、教師用マイク、学校間の会議用マイク・カメラ。家庭に理解をしてもらうため、プリンタ、デジタル教材（指導

者用デジタル教科書・オフラインで利用できるデジタルドリル)の整備通、常時の端末持ち帰りを進めるため、準要保護世帯等に通信費の一部を助成する内容となっております。

また、環境整備と並行し、ICTを活用した授業等の調査研究、研修、情報共有を目的に、各校の代表によるICT活用推進委員会を立ち上げ、これまで授業での活用に関すること、校内ルールに関すること、機種を選定に関すること等について進め、推進チーム会議によるセミナー参加、先進地視察により、ICT活用推進委員会にて還流をしております。

この他に、市教委が主催するICT活用研修会の開催や、端末の持ち帰り訓練などを実施してまいりました。

現在の学校での状況は、授業での活用が進む中、インターネットを用いた調べ学習のほかに、プレゼンテーションソフトを利用した発表学習や、共同での資料作成、写真機能を使った記録等のほかに、ミーティング機能を使った全校朝会や、アンケート機能を使った朝の会での健康観察や、児童、生徒会役員選挙など様々な場面で活用され、次第に活用が広がってきている状況でございます。

現在の課題としましては、学校内での学級間と学校間でも活用について、差が生じていることを認識しております。

これらの現状と課題を踏まえ、令和4年度のICT活用推進委員会の取組みとしては、資料のとおり、取り組みの柱としてはGIGAスクール構想で進化する学校に向けて「学校全体のICT化から学校DXの実現による教育の質の向上」、「学習活動の充実からICT活用によるポストコロナ期における子どもたちの学びの保障」という内容となっております。

活動内容としては、網走市の子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けたICTの活用。市内全校の連携による「一人一台端末」と「デジタル教科書」活用の推進。学校間(学級間)で活用の差を生じさせない組織的な取組の推進でございます。

推進委員会では「ICT活用の深化」、「学校DX」に向けた取組、学校では「ICTを活用した授業実践」、「働き方改革との関連」、「家庭との連携」に取り組むこととしております。

水谷市長

ただ今、説明のありました件につきまして、何か、ご質問ご意見等ございますでしょうか。

一人一台端末を渡してから、なぜ、すぐに活用しないのかという声をいただいているが、現状は環境整備の段階であって授業

中身については、これから決めていくということでよいか。

小松学校教育課長

通常の授業とは全く別物となることから、網走小学校で活用方法を各学校へ提案するなど活用方法について、情報共有をしている段階でございます。

水谷市長

今、説明のあったように、通常の授業と端末を用いての授業では全くの別物であって、大学ではオンライン授業で単位を取得することができるが、小中学校についてはオンライン授業では単位、所謂「時数」としては、認めないということになっているとされていたが、間違いないか。

岩永教育長

市長のおっしゃる通り、同じ内容の授業であっても、オンライン授業は、単位には含めないとして文部科学省より通知されているところであります。その理由としては、子どもたちの学びの成果の評価をどうするのかといったところが決められていないので、単位には含めないとされています。評価をどうするのかということが、今後の課題です。

小路谷学校教育部次長

今、岩永教育長からも説明があったように、道教委からの説明の中では、出欠の取り扱いを変更するものではないと話を聞いております。所謂、時数としてはカウントしないということの説明されております。

今まで、日本の教育は対面の中で行われており、その中で評価をしてきたところが、オンライン授業としたときに、通常の対面の授業と同じように子どもたちの学びの評価をすることができるかということが、まだ研究をしきれていないことが現状の話だと認識しております。

水谷市長

現状の説明を受けて、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。

伊藤委員

私の子どもが、先日、デジタルドリルを使用しており、その中で不正解だった箇所の原因をAIが分析し、克服するために別な問題を出題し、理解をしてから次へ進むという流れで学んでいたのですが、非常に便利なものだと思ひまして、端末の整備は進んでいるが、活用方法はまだ決まっていないということだったので、ぜひ、このような教材を進んで活用してほしいなと思ひます。

- 佐々木委員 端末を通しての授業となると、対面の時と違い、子どもの集中力が持続するのかなと思う部分もあります。
実体験として、対面での会議とZOOMを利用した会議では、対面での会議と比べZOOMを利用した会議は、少し集中しづらい部分がありました。
これに関しては、子どもたちも同じだと思いますので、そういう部分をどのように工夫していくかが大事だと思います。
- 中山委員 現状として、45分の授業の中で、端末を通しての授業は15分位で、そこから課題が与えられ、課題をやり終えると回答が返ってくるという形での運用しかしていないということで、色々な部分において、まだまだ、これからだなというように思っております。
- 富永委員 昨年、網走小学校での授業の様子を拝見させていただきましたが、そこで思ったのが、人数の少ない学校は、多くの児童生徒の意見を聞いたり、共に考えるという活動が難しいのが現状です。そこで端末を活用して、人数の少ない学校でも、より多くの児童生徒と交流することができれば、より良い学びになるのではと思います。
- 水谷市長 今、コロナ禍の中で、学びの在り方として、端末を活用してリモートで授業をするのが最善だと考える人もいれば、やはり学びは対面で行うことが大切だと考えている方もいたり、様々な学びの考え方が溢れてきてしまっていて、そういった時に、現場である学校が大変な思いをすることになり、時代的にも、対面での授業も、リモートの授業も両立して行っていくことが必要だと思いますが、それについてはどう考えてますか。
- 岩永教育長 子どもの学びを保障するという観点でいうと、GIGAスクール構想は授業のためだけの道具ではないので、様々な学校教育活動において、どう活用していくかということも大切だと思います。現段階では、色々なことを試行錯誤している段階であり、学校に来れなくても、成立する授業の実現はできていませんが、実際に学校間で活用方法についての研修を行ったり、リモートの授業でも、このやり方であれば時数として認められるのではないかという研究を行っています。
- 水谷市長 これからも端末の活用方法については、利用者のニーズに合わせて進めていただければと思います。

他に何かありますでしょうか。

(「ありません」との発言)

なければ、協議事項1「GIGAスクール構想の推進について」は、承認することといたします。

次に、協議事項2「学校における新型コロナウイルス感染症対応について」を事務局から説明願います。

小路谷学校教育部次長

協議事項2「小中学校における新型コロナウイルス感染症対策」についてご説明いたします。

令和3年度につきまして、市内小中学校は、昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の対応を行いながら、教育活動を実施してきたところです。

基本的には、学校は、文部科学省から発出された「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」及び道教委通知をもとにした市教委通知に基づき、教育活動を行っています。「衛生管理マニュアル」には、「地域の感染状況を踏まえ、学習内容や活動内容を工夫しながら可能な限り、授業や部活動、各種行事等の教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障していくことが必要」とされおり、学校は「3つの密の回避」、「マスク着用」、「手洗い」などの基本的な感染症対策を行った上で学習活動を継続して参りました。

また、この1年間は、デルタ株やオミクロン株の流行等や、それに伴うまん延防止措置やその解除の段階において、およそ15回の通知を発出しております。現在は、全道域で「レベル2」が継続されていることから、「集団で行う活動など感染症対策を講じてもなお感染リスクの高い学習活動は、実施を慎重に検討すること」等について、令和4年3月22日(火)に通知したところです。

実際に、児童生徒や教職員が、新型コロナウイルス感染症となった状況ですが、令和3年度につきましては、令和3年4月の西小学校の児童の感染が最初の事例であり、合計では26名(教職員6名、児童生徒20名)の感染が報告されております。

それに伴う、学校閉鎖等につきましては、協議事項2の1頁の資料をご覧ください。令和3年度は延べ8回6校(小学校5校・中学校1校)において、臨時休校の措置をとっております。

教育委員会事務局といたしましては、年度当初「感染症対応マニュアル」を作成し、保健所の指示等をもとに対応を進めてまいりましたが、令和4年1月25日の疫学調査重点化通知により、

保健所が濃厚接触者の判定を重点化したことを受け、資料2にあるように、対応フローを作成した上で、学校、保護者に示すことで理解を求め、対応してきたところです。

具体的には、感染症が発生した場合、それまでの感染者の登校、出勤の状況を確認した上で、校内での感染の可能性がある場合は、学校閉鎖の措置をとるとともに、接触者のリストアップ、接触者及びその他の児童生徒の保護者への連絡、スクリーニングの実施、その結果による閉鎖解除及び出席停止日数の確定等を行うことにより、校内での感染拡大の防止、児童生徒やその家族への安全・安心の担保に努めてきたところです。

結果、最も臨時休校が多かった潮見小学校においては2回の合計が実質6日間、他の学校は4日から1日の閉鎖期間となっております。

また、閉鎖期間については、各校において端末を活用したオンラインによる朝の会や健康観察、ICT端末に学習課題等を配信することによる家庭学習の促進、動画等を作成し、それらを視聴することによる自宅学習の推進、同時双方向型のウェブ会議システム等を活用したオンラインによる学習指導等、各校の進捗状況により端末を活用した学びの保障を進めてきたところです。

今後は、文部科学省や北海道教育委員会から発出される通知等を考慮しながら、引き続き感染症対策を徹底するとともに、学校と連携し、保護者、地域に理解と協力を求めてまいります。

水谷市長

ただいま、説明のありました件について、この取り扱いは、今後とも同じような取り扱いになるのでしょうか。

岩永教育長

現在の網走市のやり方としては、感染者が確認された場合、学校全体の消毒をするため、学校閉鎖という対応をとっていますが、道教委から本日通知があった内容では、感染者が確認された場合は、まず学級閉鎖という対応をとることと通知されています。これは、子どもたちの学びの保障という点が、感染症予防よりも大きくなってきたということではありますが、そこを網走市としてどうするかを対策本部の事務局と今、相談している段階であります。

水谷市長

他の自治体も今、話しのあった、まずは学級閉鎖で対応することに取り扱いを変えていくのでしょうか。

料金決済の導入も予定しています。
説明は以上でございます。

水谷市長 ただ今、説明のありました件につきまして、何か、ご質問ご意見等ございますでしょうか。

伊藤委員 市民が、優先的に予約できるような仕組みになっているのでしょうか。

岩尾社会教育課長 現在も、登録している団体は、一般の団体よりも早く予約できる仕組みですが、それについては同じような対応で考えております。

佐々木委員 イメージとして、端末にアプリを入れて予約するやり方なのか、市のHPから予約するのか、どのような方法でしょうか。

岩尾社会教育課長 HP上のポータルサイトから予約することができます。

水谷市長 他にありませんか。
 (「ありません」との発言)

なければ、協議事項3「公共予約システムの導入について」は、承認することといたします。

次に、協議事項4「美術館開館50周年記念展について」を事務局から説明願います。

古道谷美術館長 網走市立美術館が1972年8月に北海道としては2番目の、市町村立としては道内初の美術館として開館いたしました。今年は開館50周年を記念し、特別展の開催を予定しております。

 展覧会のコンセプトの一つ目は、まず教科書に掲載されている様な近代西洋の著名な作家の作品展でございます。

 教科書や副読本では、小さい写真でしか見ることのできない作品を、実際に見るという体験を子どもたちにしてほしいと考えております。

 日動画廊、笠間日動美術館より作品を借用しまして、モネ、マティス、セザンヌ、藤田嗣治、ピカソ、ルノアール、シャガールなど、著名な画家たちの油彩や版画作品をご覧いただきます。会期は、令和4年10月4日から11月20日頃を予定しております。

す。

二つ目は、サブカルチャーの要素を持ち、親子で楽しめる展覧会でございます。

美術にあまり関心のない方も、美術に触れるきっかけになればと思い、フィギュアの展覧会を開催いたします。

社会現象とまでなったアニメ「エヴァンゲリオン」を造形集団「海洋堂」が手掛けたジオラマで紹介いたします。

このような展覧会を親子で楽しんでいただきたいと思いますし、夏休み期間である令和4年7月30日から9月11日頃を予定しております。

三つ目は、コレクションの中核である郷土作家の展覧会でございます。

令和2年に急逝した、網走市出身の郷土作家である日本画家長谷川誠さんの遺作の寄贈を受け、作家の生涯を回顧する展覧会を開催いたします。

また、展覧会に合わせた作品の資料として、展覧会図録を作成する予定でございます。

会期は令和5年2月25日から3月26日頃を予定しております。

水谷市長

ただ今、説明のありました件につきまして、何か、ご質問ご意見等ございますでしょうか。

（「ありません」との発言）

なければ、協議事項4「美術館開館50周年記念展について」は、承認することといたします。

次に、協議事項5「スポーツ合宿及び令和5年度全国高校総体ボート競技の開催について」を事務局から説明願います。

大西スポーツ課長

スポーツ合宿及び令和5年度全国高校総体ボート競技の開催についてご説明いたします。

初めにスポーツ合宿の状況についてでございますが、ラグビー合宿の現況につきましては、ラグビー新リーグのリーグワンが1月開幕となり、例年シーズン開幕に向けた8月の夏合宿の誘致は難しい状況にあり、大学ラグビーチームについても、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、令和2年、令和3年の2年間ラグビー合宿は実施されておられません。

今後につきましては、緊急事態宣言が発出されたことから実現しませんでした。昨年9月には、リーグワン所属チーム10チームによる10人制ラグビー大会の開催を計画してござい

た。

このような大会の実施によりまして、大会前後を含めた合宿誘致にもつながることから、令和4年度につきましても、大会実施に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。

次に、女子サッカー合宿の現況についてであります。令和3年度、初めて女子プロサッカーチーム「マイナビ仙台」に合宿を実施していただきました。

今後につきましては、令和3年度につきましても、リーグ全11チーム中9チーム誘致活動を実施しておりますが、令和4年度につきましても女子サッカーチームへの誘致活動を積極的に実施してまいりたいと考えております。

数チームが、同時期に合宿していただくことにより、これまで実施していたラグビーフェスティバルのような、サッカーフェスティバルの開催などにも繋がるものと考えております。

また、誘致活動の成果としまして、先日「ジェフユナイテッド市原レディース」より令和4年度の網走合宿を実施したいとの連絡をいただいております。

次に、令和5年度全国高校総体ボート競技の開催についてですが、競技日程につきましては、先日開催されました北海道実行委員会総会で、各競技の開催日程が決定し、網走で開催されるボート競技につきましては、令和5年7月26日（水）から31日（月）までの6日間での開催となりました。

会場につきましては、「網走湖ボート場」となります。

今後のスケジュールとしましては、網走市実行委員会を令和4年4月に設立したいと考えておりまして、現在準備を進めているところであります。

また、4月からは、道高体連から競技種目別大会会場地担当教員1名が派遣され、ボート競技専門部としての知見を活かし、担当市職員とともに大会開催に向けた各種準備を行っていただくこととなっております。

会場の整備としましては、令和3年度は老朽化した栈橋の更新を行っております。令和4年度につきましては、6月頃にB級公認認定のため、4コースから5コースへコース増設を行うこととしております。

8月には、令和4年度開催地であります「愛媛県松山市」へ大会会場、大会運営の状況を視察することとしております。

その他、市民周知、情報発信としまして、網走市ホームページ内に、高校総体ボート競技のページを北海道実行委員会ホームページとリンクした形で作成することとしております。

水谷市長

ただ今、説明のありました件につきまして、何か、ご質問ご意見等ございますでしょうか。

(「ありません」との発言)

なければ、協議事項5「スポーツ合宿及び令和5年度全国高校総体ボート競技の開催について」は、承認することといたします。

以上で、本日、予定しておりました協議事項はすべて終了いたしました。

その他、全体を通して、何か、ございますでしょうか。

(「ありません」との発言)

なければ、以上をもちまして、第1回網走市総合教育会議を閉会させていただきます。

ありがとうございました。

【会議終了 16時15分】